

令和2年度第二回産業衛生技術部会企画運営委員会 資料

日時：令和2年10月17日(土) 10:00~12:00

場所：(新型コロナウイルス感染防止対策のため、ZOOMにてオンライン開催)

議事(案)

1. 第30回全国協議会(オンライン開催, 2020/11/20~22)について
2. 第94回学会(松本, 2021/5/19~21)の企画について
3. 第31回全国協議会(2021/12/2~4, 津)の企画について
4. 令和3~4年度の新体制案について
5. 次年度計画について
6. 表彰委員会より
7. 第二回拡大幹事会の日程調整
8. その他

資料

1. 第30回全国協議会(誌上・Web開催, 2020/11/20-30)について

1) シンポジウム2(産業衛生技術シンポジウム)

タイトル：パワハラ行為者の行動特性を考慮した1次から3次予防対策を考える

座長：松井知子(杏林大学 医学部)

長見まき子(関西福祉科学大学 健康福祉学部)

シンポジスト：

「産業医の視点から考えるパワハラ」, 中元健吾(中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所)

「社外カウンセラーの立場から」, 高橋由紀子(さくら心理事務所)

「社内カウンセラーの立場から」, 松浦真澄(東京理科大学 工学部 教養)

「パワーハラスメント行為者から学ぶもの」, 岡田康子(株式会社クオレ・シー・キューブ)

2) 教育講演1(専門研修会)

タイトル：さらなる労働衛生管理を目指して

座長：原 邦夫(産業医科大学 産業保健学部)

演者

「時間軸を意識した全体マネジメント」, 小林 和也(日本製鉄株式会社 九州製鉄所)

「京セラ鹿児島国分工場の労働安全衛生活動の取り組み」, 清水 涼(京セラ鹿児島国分工場)

3) 4部会合同シンポジウム「労働者の高齢化に対する産業保健スタッフの果たすべき役割」

座長：斉藤政彦(大同特殊鋼), 柴戸美奈(株式会社惠優)

演者

「産業医の立場から」, 岩根幹能(日本製鉄株式会社関西製鉄所)

「作業管理の視点から高齢労働問題を考える」, 泉博之(産業医科大学 産業生態科学研究所)

「高齢労働者へのオーラルフレイル対応」, 小原由紀(東京都健康長寿医療センター研究所)

「産業保健看護職の役割」, 帆苺なおみ(サンデン・ビジネスアソシエイト(株)総務人事部)

4) 自由集会企画：〇〇と話そう

11月28日(土) 19:00~20:00 懇親会内で同時開催(約30分), ZOOMライブ

「産業衛生技術部会長と話そう」(橋本晴男 産業衛生技術部会長)

2. 第94回学会(松本, 2021/5/19~21)について

企画案(第一回企画運営委員会・拡大幹事会における検討結果)

1) 産業衛生技術シンポジウム：「感染対策としての保護具」

医療従事者の感染対策, 産業衛生分野における感染対策の両面で議論。

総括では BCP を含めて危機管理体制についても含める。

2) 専門研修会：「換気」をテーマに、COVID-19 換気シミュレーターの報告および、換気の専門家による講演。

- ・ 例年であれば 8～9 月には企画案の募集が始まっているはずだが？
 - 事務局(信州大)に確認したところ、『コロナ禍により、感染予防対策を踏まえて会場規模を控え目にし、その代替としてのハイブリッド形式による学会開催を企画。企画の募集は、現状においては行わない予定。近日、HP 等で学会会期中の企画概要を公開する予定。』との返事あり。
 - 「企画の募集が行われない」＝「産業衛生技術シンポジウム、専門研修会等の部会主催行事も行われないのか、要確認。
- ・ いずれにしても、上記の企画で行くとして、演者の人選を進める必要がある。

3. 第31回全国協議会(2021/12/2～4, 津)の企画について

- ・ そろそろ企画案の候補を挙げておく必要がある。

4. 令和 3～4 年度の新体制案について(事務局案:別紙)

- ・ 部会長の任期(2 年)が切れるため、部会長を選出する必要がある
 - 幹事より他薦・自薦を頂いた上で拡大幹事会で選出・承認
 - 正式には来年 4 月の理事会で決定。
- ・ 野原先生の退任、土屋先生・圓藤先生の定年に伴う新幹事の任命について
 - 新地方会長ならびに理事長に提案～内諾。
- ・ 副部会長(野原先生の後任)について
- ・ 事務局の新体制について
- ・ 野原先生、落合先生の退任にともなう企画運営委員会の拡充について

5. 次年度計画について(別紙)

- ・ 次年度計画の学会本部への締め切りが 11/30 のため、企画運営委員会～拡大幹事会で議論の上、承認を頂く必要がある。
- ・ 次年度以降、企画運営委員会をどのように開催するか?(今年同様、ZOOM 開催とするか?)

6. 表彰委員会より

- ・ 次年度の奨励賞候補を挙げてもらう必要がある。

7. 第二回拡大幹事会の日程調整

8. その他

- 1) 産業衛生学会 学術委員会向けの産業衛生技術部会からの意見収集の報告(別紙)
- 2) その他